

# 2022 奥出雲町 ふるさとカレンダー

どきどきおぼろ



が

2021年11月19日  
文責：横田高校  
ファン!クラブ  
地域活動FUN!CLUB  
カレンダーチーム

## カレンダー制作者の声

みなさんこんにちは。横田高校の「※地域活動FUN!CLUB」です。

今年も新しい奥出雲町ふるさとカレンダーができあがり、皆様のもとへ届ける日がやってきました。もうご覧になっていただけましたか？

昨年からは私たち横高生が携わるようになったふるさとカレンダー。初めての取り組みでしたが2021年のふるさとカレンダーは、町内外からたくさんのご好評をいただいたと聞いています。

2022年のカレンダーは、「地域×高校生」をテーマに据えて、私たちの目に映る奥出雲町をたくさん撮影しました。地元に住んでいる横高生でも初めて目にする景色や場所があり、奥出雲の魅力に改めて触れるきっかけともなりました。今年のは地元のフォトクラブの方々からアドバイスをいただく機会もあったので、写真が少しレベルアップしたように思っています。

また、今年のカレンダーにも、昨年同様、各月の写真に詩をつけました。今年は全校で詩の作成に挑戦し、集まった371編の詩から厳選された6編です。どれも写真の雰囲気と合っていてすばらしい詩です。さらに、題字も書道を長く続けている横高生が書きました。味のある字は、これもまた見てごころの一つですので、どうぞ表紙をめくると前に見てみてください。

カレンダーができるまでには約1年に渡る取り組みがありました。撮影裏話や使われなかった写真などをこの紙面で少しだけ紹介しますので、ぜひ読んでください。読んで後にカレンダーを見てください、また一味違うかもしれません。

※「地域活動FUN!CLUB」は地域のボランティア活動やイベントに積極的に参加することを目的に作られた横田高校内の団体名です。全校生徒が会員として活動中です。

### ●1・2月のカレンダーで雪遊びをしている県外生

今年も身長ぐらゐの雪が降ったのでびっくりしました。横田高校に入学して初めての大雪は、楽しくもあり、雪かきの大変さも教えてくれました。また、吹雪の中、寮まで約2キロの道のりを、半分泣きながら歩いたのも思い出の一つです。そんな私たちの冬の思い出の「コマ」がカレンダーとして残ることをうれしく思っています。

### ●初めて制作に参加した松浦さん(1年)

私は福頼棚田と三沢の水辺の教室の撮影に参加しました。福頼棚田に行ったときには「こんなにきれいな町を見渡せる場所があるんだなあ」と感動しました。でもまだ一眼レフカメラの扱いに慣れていなくて、良い写真を撮るのは難しかったです。水辺の教室では、生き生きと活動する子どもたちの姿が印象的でした。

### ●詩の選考に関わってくださった国語科・高松先生

横田高校生の思い入れの詰まった写真。良い作品がたくさんあったので、「地域魅力化」に携わる生徒によって写真の選考をしました。そして毎月毎の写真の風景にふさわしい詩を全校生徒で作りました。この選考にも生徒が携わりました。地域に対する生徒の熱い思いからなったカレンダーです。

### ●地域づくり推進課

#### ふるさとカレンダー副担当・堀尾主事

今年も、昨年に引き続き「地域活動FUN!CLUB」のメンバーにご協力いただき、奥出雲の特色ある風景が存分に感じられる素晴らしい作品を作り上げていただきました。

私も撮影現場に同行しましたが、高校生の撮影している時の真剣な眼差しや満面の笑み、チームワークには心をうたれました。

今回のカレンダー制作を通じて学んだことを、少しでもこれからの生活に活かしていただければと思います。

## ホタル？



## 写真選定会の様子

昨年の選定は大人の方だけでされたようですが、今年は高校生メインでの写真選定会が行われました。写真を見た選定アドバイザーの方々から、「高校生らしくて新鮮！」「上手に撮れている」などと褒めていただく一方で、「写真は良いが、ポエムが入るスペースがないね」「どこで撮った写真なのか、場所が分かりづらいかな」「冬の写真には青空がほしいな」など、様々な視点からご指摘やご意見をいただきました、とても勉強になりました。



また、「写真一枚一枚にどういう意図があるのか教えてほしい。」と聞かれた際、相手に伝わるように自分たちの考えを説明するのは難しかったです。写真の最終決定は高校生に委ねられ、意見が割れたときはなかなか写真が決まりませんでした。でも、各々の意見を尊重して写真決めをしたことは、貴重な経験になりました。

また、「写真一枚一枚にどういう意図があるのか教えてほしい。」と聞かれた際、相手に伝わるように自分たちの考えを説明するのは難しかったです。写真の最終決定は高校生に委ねられ、意見が割れたときはなかなか写真が決まりませんでした。でも、各々の意見を尊重して写真決めをしたことは、貴重な経験になりました。

## それぞれの写真について

**1・2月** 2019年4月から2年間、横田高校の学生寮だったセミナーハウスで撮影したものです。雪の少ない地域からきた生徒たちにとって今年の冬は忘れられない思い出になりました。

**3・4月** 鳥上地区の福頼棚田展望台から撮影しました。この日は横田フォトクラブの方に先生になっていただき、一眼レフカメラの使い方や良いアングルについて教えていただきました。

**5・6月** 三成地区の善勝寺のあじさいです。シャボン玉のような色の傘があじさいの美しさを引き立ててくれました。5・6月にはほかにも蛸や要書山三沢城跡山城祭にも撮影に行きました。

**7・8月** 三沢地区で開催された「水辺の教室」におじゃまして、川の中の生き物を探す小学生を撮影。改めて奥出雲の自然は子どもたちの教室だと感じました。

**9・10月** 馬木地区の金言寺の大イチョウの木です。この日は出雲市からいらっしやっていた家族にモデルになってもらいました。両手につかんだイチョウの葉には砂も混じっており、撮影時には粒が当たって顔が痛かったです…。

**11・12月** 2019年冬、稲田神社で行われたしめ縄つくりの「コマ」です。「コマ」の流行もあり、昨年はこうした交流が減った関係で、少し古い写真になりました。このとき完成したしめ縄は今も出雲横田駅にかけられています。来年も奥出雲ですてきな縁がたくさん生まれますように。

※裏面ではポツになった写真を紹介しています！

### アドバイザーの一人 雲南広域連合 雲南地域観光情報発信担当 永田主任主事さんより

採用になっていない写真も含め「高校生らしい感性」を感じる素敵な写真ばかりでした。高校生の目線で切り取られた奥出雲の風景や、詩で彩られたカレンダーは、この地域の素晴らしさや美しさに改めて気づかせてくれる作品になっていると思います。

選定会に参加させていただき、ありがとうございました。



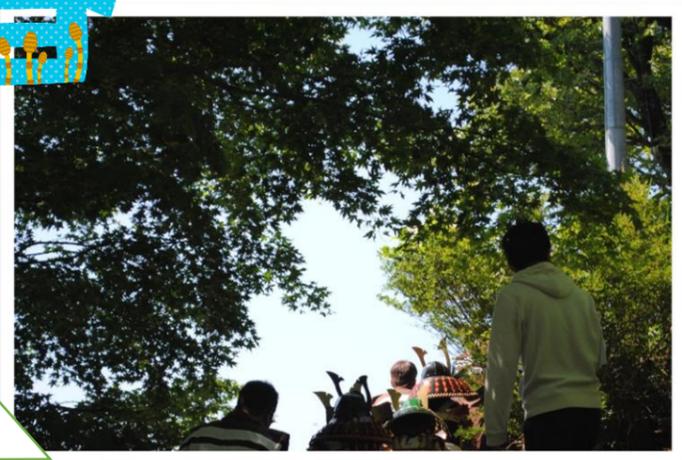


農事組合法人石原里田さんの田植えイベントです。多世代の方と昔ながらの田植えを体験しました。

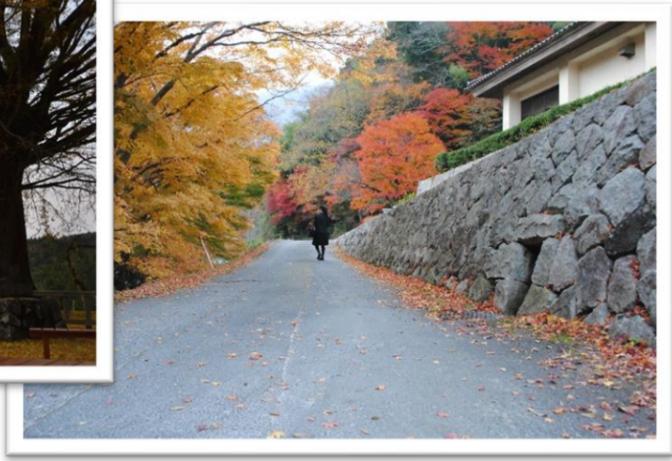


2020年から2021年の冬は雪がたくさん降りました。右の写真は登校時の様子です。滑って転びそうになりながら高校に向かいました。左の写真は安養寺サタースクールでの一コマです。ボランティアに行った高校生も小学生と一緒に雪遊びで汗をかきました。

要害山三沢城跡山城祭の写真です。山の緑と風がさわやかな日でした。小学生たちの姿はかわいらしくも凛々しかったです。昔にタイムスリップしたような気持ちになりました。



夏は色々なところに撮影にでかけました。左は横田の加食での川遊び体験です。暑い日だったので、滝の冷たい水がとても気持ち良かったです。右は鳥上のわくわくプール。ご家族が楽しそうに過ごしておられました。真ん中は稲田神社のそばで撮ったホタルの写真です。白黒ではわかりづらいですが、ホタルの舞う幻想的な写真が撮れました。



12月はどこもお正月準備で大忙しです。今では珍しくなった杵とうすでの餅つきは、大変でしたが出来上がったお餅のおいしさは感動的でした。

右は可部屋集成館で撮りました。でもちょっと撮影時期が遅かったようで…あと数日早ければ…と思いました。左は金言寺の大イチョウの前で語らう二人の姿です。落ち着いた静かな時間が流れていました。

